

郷づくり代表者会議での意見

10月23日郷づくり推進協議会代表者会議にて中間報告書案の説明をしました。その際、答申に向けていただいた意見をまとめたものです。

▼柱1: 交付金のあり方について

- ・交付金の算定が平等ではない。ずっと訴えてきたが変わらない。配分に関する市の考えを明確にするよう答申に盛り込んでほしい。規模加算の配分額頭打ち(3,500世帯)の撤廃は、平等に向けた一歩であって、その次をどうしていくのかが重要。
- ・答申には、抽象的な表現ではなく、「現状は〇〇であるが□□に見直す」のように、具体的な提案を盛り込んでほしい。そうすれば、自治会長への説明がしやすい。

▼柱4: 市の関わり方について

- ・全てのことについて、まず市の考え方を整理する必要がある。前提となるところが明確でないと、中間報告の内容が分かりにくい。

▼全体

- ・中間報告はあくまで審議会の意見であって、市は事務局として報告しているもの。重要なのは、市が中間報告や答申をどう受け止めて動いていくかだが、それは答申後の話だと認識している。
- ・答申を受けて市が動いていく中で、自分たちが気づいたことや意見があれば、今後も共働推進会議に伝えていきたいと思う。